

「ふらっと・西京」第5回
～テーマ「歴史」～

[講師の小林さんのお話し]

- 西京区役所の所在地は上桂森下（もりしも）町だが、近くに森はないのになぜ「森下」なのかご存知か。実は、昔、この近くに「天鼓の森」と呼ばれる古墳があり、その北が森上町、南が森下町になった。この古墳は阪急嵐山線の盛土となって消滅した。この「天鼓」とは、雷のことではないかと考えている。
- 上桂駅から物集女街道との交差点「山田口」を経て、山側の方に行くと水路がある。また、物集女街道の歩道は西側に比べて東側が広いが、これは歩道の下が暗渠になっているため。大陸から渡来した秦氏が嵐山に堰をつくり、これらの用水路を開削したことで、この辺りは飛鳥時代から拓けて、貴族の荘園となっていた。秦氏は、土木、農耕、機織、養蚕、酒造などの技術を伝え、松尾大社や伏見稻荷大社などの創建にも関わった。
- 平安時代には、西京区には貴族の館も建てられた。月の名所「桂」には藤原家の別荘があり、その場所が後に桂離宮となった。
- 松陽学区に、葉室家の霊を祭る葉室御霊神社という神社がある。葉室とはもともと地名であり、足利から命じられて来た藤原姓の代官が、地名に合わせて「葉室」を名乗るようになったもの。
- 川岡という地名があるが、岡があるわけでもないのに川岡という地名となったのは、旧川島村と旧岡村が合併してできたため。また、桂村という名前の村はなく、中心地は千代原村という村だった。
- 戦国時代には、織田信長は、天下統一する前に西岡（嵐山～長岡京市）を統一し、細川幽斉に治めさせた。西岡には嵐山城、川島城、桂坂の峰ヶ堂城などの城があり、物集女城の物集女氏は、反抗して殺された。
- 西京区には、様々な歴史がある。みなさんと、西京区の歴史について訪ね歩く会ができると楽しいと思う。

[参加された方からのご意見]

- 檜原廃寺は日本で唯一八角の塔を持っていた寺。天皇家とかかわりがあったらしいが、発掘が禁止されているらしく、詳しいことは不明。
- 上桂公園には山になっているところがあるが、古墳ではないか。
- 桂川の牛ヶ瀬は、昔は氾濫がひどかったところで、そのためにJR桂川駅の辺りの線路は高架になっている。
- 桂の良（うしとら）町，巽（たつみ）町，坤（ひつじさる）町，乾（いぬい）町の町名は，春日神社から見た，それぞれの方位から付けられた。
- 桂離宮の前にある和菓子の中村軒は，桂女から始まった。
- 桂の農家は，栄養のあるものを食べていた貴族の家まで，肥料を取りに行っていたそうだ。
- 第2回目の勉強会をしてほしい。
- 歴史ウォーキングをしたい。
- 小学校と連携して，子供たちが西京の歴史を学ぶ機会をつくりたい。また，そのためのワークシートをつくりたい。